

セアカゴケグモに気をつけましょう!!

平成 24 年に、大竹市で、広島県内で初めて特定外来生物「セアカゴケグモ」が発見されました。以後、たびたび広島県内で発見事例があります。

毒を持つのは、メスだけです。セアカゴケグモにかまれると、針で刺したような痛みを感じ、発汗や吐き気などの症状が現れることがあります。また、子どもや高齢者の場合は症状が重くなる場合があります。

ただし、セアカゴケグモは、攻撃性はなく、素手でさわらない限りかまれることはありません。

■毒グモの生息場所

次のようなところに巣を張ります。

- ・日当たりのよい地面近くの隙間やくぼみ
- ・道路側溝の中、プランターやエアコンの室外機

■見つけた場合

- ・絶対に素手では触らないようにしましょう。
- ・駆除するには、市販の殺虫剤（ピレスロイド系）の噴霧が効果的です。熱湯をかける、足で踏みつぶすなど物理的な方法でもかまいません。

■もしかまれたら

【症状】

- ・主な症状は、痛みです。ゴケグモ属の毒は神経毒で、かまれた直後は軽い痛みを感じる程度ですが、しだいに痛みが増し、場合によってはかまれたところ以外の胸やお腹が痛くなることがあります。
- ・全身症状を示す人はごくまれですが、その多くはかまれて3～4時間後に、吐き気、嘔吐、めまい、頭痛、高血圧、呼吸困難、排尿困難、全身の関節痛などの症状を示すと報告されています。胸部の痛みは心臓発作による痛みと間違われることもあります、
- ・人によっては症状がまったく現れない場合もあります。

【処置】

- ・かまれた場所を水洗いして清潔にし、保冷剤などで冷やして、出血がある場合でも、包帯などで圧迫しないようにしてください。そのうえで、最寄りの病院で受診してください。その際、可能であれば、病院に、かまれたクモを殺してお持ちください。適切な治療につながります。

※セアカゴケグモを発見した、セアカゴケグモにかまれた、またはその疑いがある場合は、下記のところまでご連絡ください。

■問い合わせ 府中町町民生活部環境課 TEL082-286-3242

セアカゴケグモ（メス）【1目盛＝1mm】

出典：愛知県衛生研究所

